

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	倫理
科目基礎情報						
科目番号	0026		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書として『倫理』（東京書籍）, 資料集として『最新図説 倫理』（浜島書店）を使用する。					
担当教員	久保田 圭司					
到達目標						
1. 歴史的・思想的及び近代的価値観の形成に関する理解を目的とする 2. 思想や価値観の多様性、他者尊重の精神、社会集団の規範の意味の理解を目的とする 3. 現代社会の企業と消費者との間に期待される倫理的関係の理解を目的とする						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
到達目標1	歴史的・思想的及び近代的価値観の形成を理解し、応用的に考えられる		歴史的・思想的及び近代的価値観の形成を理解できる		歴史的・思想的及び近代的価値観の形成を理解できない	
到達目標2	思想や価値観の多様性、他者尊重の精神、社会集団の規範の意味を理解し、応用的に考えられる		思想や価値観の多様性、他者尊重の精神、社会集団の規範の意味を理解できる		思想や価値観の多様性、他者尊重の精神、社会集団の規範の意味を理解できない	
到達目標3	現代社会の企業と消費者の間に期待される倫理的関係を理解し、応用的に考えられる		現代社会の企業と消費者の間に期待される倫理的関係を理解できる		現代社会の企業と消費者の間に期待される倫理的関係を理解できない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	世界史的観点から代表的な思想の基礎を学ぶとともに、近代的価値観を整理する。 多様な価値観を尊重する姿勢や社会がもつ規範の意味を理解する。 技術者が備えるべき倫理観の基礎領域を学習する。					
授業の進め方・方法	授業は講義形式を中心とする。					
注意点	テキストは必要に応じて参照するが、テキストに沿って授業を進めるわけではないので注意が必要である。課題は年2回期限を設ける形式で課し、提出は任意である。 学習・教育目標（A－1） 1 0 0 %					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 倫理とは何か(ALのレベルB)		シラバスに基づいて、授業の目標などを理解する	
		2週	古代ギリシア思想(1)		ギリシア思想の基礎を理解する	
		3週	古代ギリシア思想(2)		ギリシア思想の基礎を理解する	
		4週	古代ギリシア思想(3)		ギリシア思想の基礎を理解する	
		5週	古代中国思想(1)		古代中国思想の基礎を理解する	
		6週	古代中国思想(2)		古代中国思想の基礎を理解する	
		7週	古代中国思想(3)		古代中国思想の基礎を理解する	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	近代合理主義(1)		地動説の基礎を理解する	
		10週	近代合理主義(2)		経験論の基礎を理解する	
		11週	近代合理主義(2)		大陸合理論の基礎を理解する	
		12週	社会契約論(1)(ALのレベルB)		社会契約論の基礎を理解する	
		13週	社会契約論(2)(ALのレベルB)		社会契約論の基礎を理解する	
		14週	功利主義(1)		功利主義の基礎を理解する	
		15週	功利主義(2)		功利主義の基礎を理解する	
		16週	期末試験(ALのレベルC)		試験返却の時間に総まとめを実施する	
後期	3rdQ	1週	現代倫理学(1) 功利主義倫理学(1)		功利主義倫理学の基礎を理解する	
		2週	現代倫理学(2) 功利主義倫理学(2)		功利主義倫理学の基礎を理解する	
		3週	現代倫理学(3) 義務倫理学		義務倫理学の基礎を理解する	
		4週	現代倫理学(4) 徳倫理学		徳倫理学の基礎を理解する	
		5週	リスク論(1)(ALのレベルB)		リスク論の基礎を理解する	
		6週	リスク論(2)		リスク論の基礎を理解する	
		7週	リスク論(3)		リスク論の基礎を理解する	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	PL法に見る企業倫理		製造物責任を事例として企業倫理の基礎を理解する	
		10週	知的財産権(1)		知的財産権の基礎を理解する	
		11週	知的財産権(2)		知的財産権の基礎を理解する	
		12週	知的財産権(3)		知的財産権の基礎を理解する	
		13週	不正競争防止法		意匠権・商標権に関連する不正競争防止法の基礎を理解する	
		14週	著作権(1)		著作権の基礎を理解する	
		15週	著作権(2)		著作権の基礎を理解する	
		16週	期末試験(ALのレベルC)		試験返却の時間に総まとめを実施する	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会 科学	社会	公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	
	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	
評価割合						
		試験		課題	平常点	合計
総合評価割合		400		100	40	540
前期		200		50	20	270
後期		200		50	20	270